2023～2024年度　3月定例理事会　議事録

＜議　題＞

1）2023～2024年度　4月例会プログラムについて

4月5日　IDMの報告（テーマ: 趣味）
12日　地区大会全員参加のため14日(日)に変更
於）福岡サンパレス
19日　クラブアッセンブリー　地区大会の報告
26日　卓話「ここまできた生成AI」　山口　典浩　君

＜上記了承＞

2）2023～2024年度　理事（無任所）の欠員について

無任所理事は、欠員のままで補填しない。

＜承認＞

3）細則委員会の立ち上げについて

細則委員会は、波多野正信、髙嶋雅樹、坂本敏弘
藤本生男、江藤賢一永吉大祐、神尾康生(敬称略)の7名で構成する。

＜承認＞

4）その他

3月16日(土)第3グループインターアクト合同例会の参加者が約100名いるため会員の協力をお願いしたい。

＜了承＞

ニコニコボックス

・「第3グループIMの報告」よろしくお願いします。

髙嶋・金久保・伊豆・有松・坂本・波多野・八尋・藤本・江藤
野田・小嶋・松尾・井上・谷・江﨑・三島の諸君

・誕生自祝　　岸野・安東・山口・藤村の諸君

次回例会のお知らせ

3月15日(金)　卓話「新会員を囲んで親睦を深める」

クラブアッセンブリー　「第3グループIMの報告」

野田　博志　君

2/17九州国際大学にて2700地区 第3グループ　インターシティーミーティングに初めて参加させていただきました。Mに参加した感想ですが、私は第1部のみ参加したので第1部での印象的な事は、町田そのこさんの講演のお話しでした。 町田そのこさんは基本家から出なくて家族以外の方には会うことが少ないと聞きかなりのインドアの作家さんだと感じました。小学校6年生で作家を目指し小学校時代にはいじめにあい学校に通えない時期が続いたそうです。また学校に登校したときは大好きな小説をお守り代わりにランドセルに入れ登校し授業以外はトイレにこもり自身の好きな小説を読んでいたそうです。小説を読むことで生かされてきたとお話をされてました。町田そのこさんの本で有名な52ヘルツのクジラたちは2021年に本屋大賞を受賞し映画化もされました。本を読んでないので内容はわかりませんがグッとくるシーンもあり温かい気持ちや優しい気持ちがある映画のようです。皆さんも最近温かい気持ちや優しい気持ちに飢えてる方は是非、本日3/1より公開されるとの事ですのでご覧いただければと思います。今回のIMでは1部でローターリー情報を学び、第2部で他クラブの方と親睦を図る事を学びました。他クラブで知り合いの方が沢山参加されていたので、次回のIMでは第2部の交流会も積極的に参加して他クラブの方と親睦を図りたいと思います。

新家　友晴　君

話したかった内容を野田さんが98%話してくれたので話す内容がないのですが、今回のIMのテーマ「交流と進化」でした。印象に残っていることは、変えないといけないことと、変えてはいけないことというところを進化に取り入れるというところでした。会社、人脈の問題にも変えず、変えていかないといけないのかなと学びになりました。ロータリ入会して日が浅いので用語がわからなかったがIMを通じて学べました。次回も参加したいと思います。今日、三男が高校卒業式で朝送っていき、私自身凄く気持ちがいい日になりました。水曜日に北九州オープンで予選敗退してしまい落ち込んだ心を三男が行ってくるよということで気持ちよく送り出せたので楽しい一日になりそうです。これからも、色々交流をし貢献出来るようにしていきますので宜しくお願い致します。

宮島　祐一　君

実は前回のIMにオブザーバーとして参加させてもらっていたので今回の2回目の参加になりました。町田さんの小説は、血縁関係、家族の喜怒哀楽をつづった様な小説が多く、52ヘルツのクジラが大賞に選ばれました。52ヘルツというのはクジラが発している周波数でクジラ同士でも届かない周波数だそうです。仲間なのに気づいてもらえない、孤独ということみたいです。
自分自身も劣等感を抱えていた幼い時代を過ごしました。孤独というのが大人になっても続いてまして、友達はいるのですが、心の底から自分の本音を話す勇気がなく、自分をさらけ出すと嫌われてしますのではないかという劣等感を感じてしまいます。人間性など自分の人生の中で経験できなかったことを永吉さんの任芸性を手本にしてみたいなと考えさせられる1部でした。
2部は親睦の場が開けていました。ロータリクラブは初めての人でも暖かく迎えていただけるクラブだと感じました。ロータリーは幅広い世代間での繋がりがあり、終止にわたって命が果てるまでお付き合いが出来る組織なんだろうと感じました。